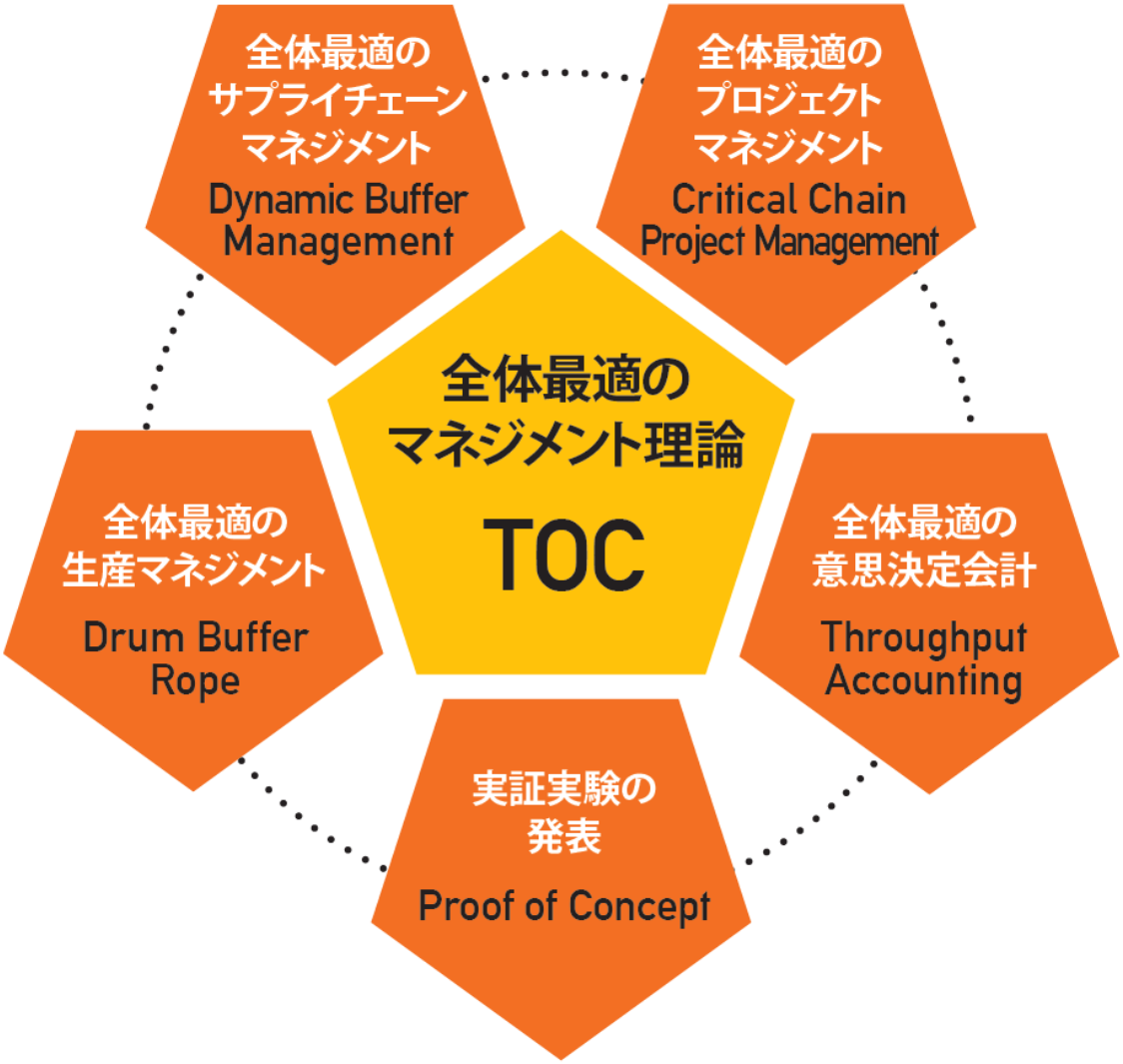
Online

goldratt SCHOOL

目覚ましい成果を出しながら
全体最適の問題解決を
実践する人財を自社に育てる!

ゴールドラットスクール国際資格認定プログラム
Goldratt Certificate for TOC Essentials

新 ゼロから始めるTOC実践ワークショップ



www.goldrattschool.jp

Breakthrough thinking in action

新・ゼロから始めるTOC実践ワークショップ

全世界で1000万人が読み、世界各地で幅広い分野で目覚ましい成功事例が続出している『ザ・ゴール』。この本の著者エリヤフ・ゴールドラット博士が開発した全体最適のマネジメント理論がTOC (Theory Of Constraints) です。TOCは、開発したゴールドラット博士の意向もあり、20年間近く、その最先端の手法が日本に紹介されることが封印されてきました。現在、日本に紹介されているTOCの多くの手法も実は10－20年前に開発されたものです。この期間も、そして現在もTOCは世界中で進化しつづけ、工場生産、ロジスティックス、サービス、プロジェクトマネジメント、行政、組織問題、経営会計手法、教育分野など、さまざまな分野に展開され、目覚ましい成果を出し続けています。

多くの方々のご希望を受け、本ワークショップでは、TOCをゼロから学び、実践できるようにするワークショップを行うことにしました。自社を良くすることを通して、日本を、そして世界をより良くしていく志を持った方々のために、ゴールドラット・グループが持つ最新の知識体系、ノウハウを提供します。特別な準備は必要ありません。会社をよくしたい、職場をよくしたいという思いを持ってきていただければ結構です。

より多くの皆様に参加いただけるよう、この度オンラインセミナーに進化しました。また、コース内容を充実させ、ご要望の多かった認定証も要件を満たした方に授与します。

- ５か月間、トップエキスパートからTOCの実践知識体系を取得
- 毎回、自社の実際の課題をベースにワークショップ
- 学んだことを持ち帰り、現場で成果を出す
- 自社に適用する際の疑問点などを丁寧に指導
- 実践成果報告合格などの要件を満たした方に、Goldratt Certificate for TOC Essentials 国際資格認定

参加対象 ● **誰でも参加可**
ＴＯＣは全体最適のマネジメント理論です。全体最適で自分の会社を良くしようという志のある方に参加していただきたいと思っております。 会社の組織をまたがって複数名で参加するとより効果的です。

募集人数 ● **60名**
特別な準備は必要ありません。会社をそして、職場をよりよくしたいという志があれば十分です。
『ザ・ゴール　コミック版』『ザ・ゴール２　コミック版』などを読んでおくと、より理解が深まります。

開催方式 ● **zoomを利用したオンライン形式**

費用 ● **１人19.8万円（消費税込） 分割払い可能！**

プログラム概要

ー 計5日：毎月1日 x 5ヶ月 ー

開始時刻は9:00、終了時刻は17:00～18:00の間を予定しております

第１回　１日間

全体最適の生産マネジメント－DBR (Drum Buffer Rope)

- 自社の組織について考える（望ましくない現象とは？望ましい現象とは？）
- 『ザ・ゴール』についてあらためて考察する（全体最適のマネジメント理論TOCとは？継続的改善とは？DBRとは？）
- 博士が自ら最も重要な論文と位置付けていた「巨人の肩の上に立って」から生産の本質を学ぶ
  - 生産における二人の巨人と、その偉業の考察
  - 偉大な巨人、大野耐一氏から学ぶべきもの
  - 流れの4つのコンセプト
  - ケーススタディ
- 自社に当てはめて考えるワークショップ（制約を特定する・制約を徹底活用する方法を決める・その他すべてを制約に従属させる・制約の能力を高める・惰性に気を付けながらステップ１に戻る）
- 学びを活かし実践するための宿題
- 質疑応答＋次回のワークショップまでメールによる個別指導

第２回　１日間

全体最適のサプライチェーンマネジメント－DBM (Dynamic Buffer Management)

- 経営幹部の立場に立って考える（望ましくない現象とは？望ましい現象とは？）
- 全体最適のサプライチェーンマネジメント - DBMを学ぶ
  - 過剰在庫と欠品を招く落とし穴
  - なぜ、従来の後補充生産が思ったような成果をもたらさないのか ー 後補充生産とDBMの決定的な違い
  - ケーススタディ
  - 過剰在庫と欠品を解消する新しい考え方の前提
- 自社に当てはめて考えるワークショップ（望ましい状況は実現できそうか？会社に戻ってどう伝えるか？）
- 学びを活かし実践するための宿題
- 質疑応答＋次回のワークショップまでメールによる個別指導

第３回　１日間

全体最適の意思決定会計－TA (Throughput Accounting)

- 現在の会計評価指標について考える（望ましくない現象とは？望ましい現象とは？）
- 「スループット会計」とは
  - なぜ、従来の評価指標に現場が違和感を感じるのか、実験を通して考察する
  - 原価会計による意思決定に潜む、落とし穴とは
  - 組織全体にとって、より良い意思決定をするために
  - 従来の指標と対立せず、むしろ相乗効果を出す導入と運用のコツ
  - ケーススタディ
- 自社に当てはめて考えるワークショップ（自社の課題と、解決の方向性について、周囲をまきこむために。会社に戻ってどう伝えるか？）
- 学びを活かし実践するための宿題
- 質疑応答＋次回のワークショップまでメールによる個別指導

第４回　１日間

全体最適のプロジェクトマネジメント－CCPM (Critical Chain Project Management)

- 現在のプロジェクト現場について考える（望ましくない現象とは？望ましい現象とは？）
- 「CCPM」とは
  - プロジェクトに潜む落とし穴
  - 実際に工程表を引いてみる
  - 現場にゆとりとチームワークをもたらす5つのステップ
  - ケーススタディ
- 運用の仕方について学ぶ（良い遅れと悪い遅れとは？不確実性に対処する先手管理運用方法）
- 自社に当てはめて考えるワークショップ（どのプロジェクトで実証実験するべきか？会社に戻ってどう伝えるか？）
- 学びを活かし実践するための宿題
- 質疑応答＋次回のワークショップまでメールによる個別指導

第５回　１日間

実践に欠かせない周囲の協力：「いかにして周囲の協力を得るか？」

- 参加者からの実践報告
- トップエキスパートからのアドバイス
- 今までの振り返り
- 「仮説の論理構造」特別セミナー
- 月曜日を楽しみな会社にするために
- 認定証授与（実際の証書は郵送となります）

参加者の声

コストダウンするよりも、スループットの増大が大切である。赤字商品と思っていた物が実はもうかるかもしれない。（機械メーカー 社員）

必要な時に必要な分だけ必要な場所に！みんな心配症で、一杯作るので、他の場所でも考えを教えていきたい。（精密機器製造 社員）

TOC は科学的なアプローチであり、普遍性、再現性がある公式なので、まずは実践することが重要だと思った。（情報システム 社員）

今は個々の成果をあげる事が常になっているが、「みんなでがんばる」事の意味を改めて考えさせられました。（製造業 社員）

これまでは、改善というと手がつけやすい目の前の課題に取り組んでいて、それが当たり前で良い手段と思っていた。これからは、制約を見つけてそれを解決する事が真の改善に繋がるということを活かしていきたい。（機械販売 係長）

講師陣紹介

笹川 正智 (ささがわ まさとも)

ゴールドラット ジャパン プロジェクトディレクター

元 新日鐵住金ステンレス(株) 執行役員。
2001年、「The Goal」に巡り合うやいなや、アレックスになりきり、光製鉄所製鋼工場長として操業改善に着手。改善の5ステップを忠実に実行し、設備投資なく生産性を２５%も改善。増産分すべてがスループット向上し、2003年に設立された新日鐵住金ステンレス（NSSC)に過去最高の収益をもたらした。その後、販売・生産業務改善推進班長をとして、受注後納品までのリードタイムを3.5か月をわずか7日に短縮。鉄の世界に大きなパラダイムシフトをもたらした。日本をよくするために、実践で培った経験と知識を活用し、幅広い産業界で成果を出し、日本をよくするために日々活動している。

飛田 甲次郎 (とびた こうじろう)

ゴールドラット ジャパン パートナー　／　大阪工業大学客員教授

元オムロン株式会社執行役員常務。産機コンポ統轄事業長、Omron Europe Presi-dent &CEO、ものづくり革新本部長などを歴任。また、関西ＩＥ協会副会長、日本電機工業会大阪支部長、関西電気保安協会評議員なども歴任した。全体最適のマネジメントを取り入れることが、「失われた20年」を取り戻し、自信と活力溢れる日本企業になることに繋がると確信している。生産領域に留まらず、事業企画、商品開発、国内外販売など幅広い経験をもとに、TOCの最新知識を楽しく、分かりやすく説明することに定評がある。
公職 野洲市ものづくり経営交流センタ運営委委員（滋賀県）

関 昭義 (せき あきよし)

ゴールドラット ジャパン プロジェクトディレクター　／　産学連携機構九州（九州大学TLO）　講師

元TOTO株式会社中央技術センター所長、もの創り人財育成センター所長。
機器商品の設計、そのコアとなる技術、お客様視点での品質保証、海外子会社の設立・経営など国内外のものづくりマネジメントの要職を歴任。特に品質工学を核とした未然防止型ものづくりへのTOTOの変革を指揮し、同時にそれらを牽引する技術人財を育成した実績は、品質工学のソサイエティや工学教育界で高く評価され、日本工学教育協会の教育士審査員の資格も持つ。日々進化するTOCの知識体系をベースに、人財を育てることに熱血を注ぐTOCトップエキスパートとして定評がある。

【2023年春 開講スケジュール】

第1回　2023/04/14（金）
第2回　2023/05/12（金）
第3回　2023/06/09（金）
第4回　2023/07/07（金）
第5回　2023/08/04（金）

【2023年秋 開講スケジュール】

第1回　2023/10/13（金）
第2回　2023/11/10（金）
第3回　2023/12/08（金）
第4回　2024/01/12（金）
第5回　2024/02/09（金）

goldratt SCHOOL

【お問い合わせ】gs-japan@goldrattgroup.com